


研究テーマ	公共経済学と地方財政	
担当者名	小林 航	
ゼミの関連キーワード	公共政策、経済、財政、社会保障	
各研究の概要	<p>【ゼミナール1】</p> <p>公共経済学とは、経済学の考え方をを使って公共政策のあり方について考える学問である。政府の役割とは何か、なぜ税金が必要なのか、環境問題や格差問題はどのようにとらえるべきなのか。このような問題について考えるための理論を学び、理論を応用して検討する政策分野として地方財政の問題に焦点を当てる。地方自治体の財源はどのようにして調達されているのか、自治体間の財政力格差はどのように調整されているのか、といったことを地方財政論の授業内容を掘り下げる形で学び、様々な課題の解決策について検討する。</p>	
	<p>【ゼミナール2】</p> <p>ゼミナール1で学んだ基礎知識を活用し、独自のテーマで研究に取り組む。春学期は、夏休みに開催される他大学との合同合宿に向けて共同研究を行う。これまで取り組んだテーマは、人口減少問題、中小企業の人材問題、日本の財政赤字、熱海市の財政再建、受動喫煙対策、地方税の税込変動、ふるさと納税、中古品の市場などである。秋学期は卒業研究に向けて1人1人が独自の研究テーマを設定し、その問題について背景調査を進める。</p>	
	<p>【卒業研究】</p> <p>ゼミナール2の後半から着手している自分の研究テーマを更に掘り下げ、卒業論文として完成させることを目指す。これまでの卒業生が取り組んだテーマは、所得税、法人税、消費税、地方交付税などの財政問題や、年金、医療、介護、生活保護、最低賃金、ドクターヘリなどの社会保障問題に加え、教育政策、農業政策、環境政策、都市政策、交通政策、航空政策、通信政策、移民政策、公営ギャンブル、海賊対策など多岐にわたる。</p>	
過去の卒業論文の題目例	<ul style="list-style-type: none"> ・地方法人税と地方法人特別税の格差是正効果の比較 ・ふるさと納税による自治体間の税込格差への影響について ・観光消費額と経済波及効果：沖縄県と千葉県の比較 ・アニメパワーを活用した町おこし 	
履修上の注意	いま起きている社会問題に目を向け、なぜそのような問題が起きているのか、どうすれば解決できるのか、といった問題意識を持つことを常に心掛けておくこと。	
関連する課外活動	3年次の夏休みに他大学との合同合宿を行っている。 2年次の春休みに春合宿を行うこともある。	